

2024 年度

ニチキッズさくら本郷台保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025 年 1 月 16 日（木）～1 月 31 日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月27日（木）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ。」「おもいっきり学ぶ。」の理念に則り、子ども一人ひとりと関わって、思いを受けとめるようにする。やりたいと思える遊びを一緒にできるように心掛けた。遊びの幅が広がったように感じる。
子どもの発達援助	全体的な声掛けでの動作が難しい子には、事前に声掛けをしたり個別の対応をする。ミーティング等で職員全体で共有し、個々の特性に寄り添いながら適切に関わった。
保護者に対する支援	必要時には、個々の面談を行ったり、送迎時にしっかりと子どもの様子を伝えたりすることで保護者と協力しあいながら子どもの成長を促した。
保育を支える組織的基盤	報連相をしっかりと行うように促し、会議等で共有する。虐待・不適切保育の理解度チェックを毎月行う。人権擁護のためのセルフチェックリストも毎月行い、結果を会議で共有し更に子どもの最善の利益を確立する。

総評
子どもたちの気持ちに寄り添い、子どもたちが楽しめるような遊びを考え、提供している場面が多くみられた。集団での遊びに興味を持たない子も多くいたが、無理強いすることなく子どもの気持ちに寄り添った保育を心がけていた。職員同士も意見を言い合える環境にあり、活発な意見交換ができていた。途中で産休の職員が続いたり退職の職員が出たりしたが、保護者の協力を得ながら行事を減らすことで子どもたちに向き合った保育ができたように感じる。一方で面談や参観等がなくなってしまった為、今後は子どもたちに寄り添いながらも保護者が見守れる参加型行事を増やしていきたい所存です。